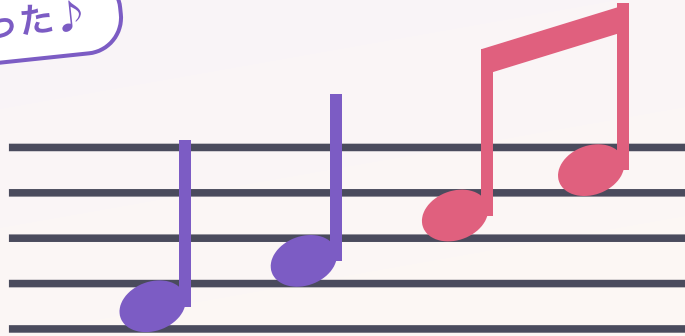


重なった♪



きれいな響き！

ハモリに挑戦

声を重ねて、響きを楽しもう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ハモリのきほん	3～5
ハモリを支える力	6～11
輪唱を楽しむ	12～13
ハモリを広げる	14～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

同じ高さ、ちがう高さの重なりを知ろう。

unison

みんなが同じ高さの音を歌うこと

harmony / 和声

ちがう高さの音が同時に重なった響き

- ユニゾンは、声が1つにそろうことで、力強さが生まれます。
- ハーモニーは、ちがう音が重なることで、豊かな響きが生まれます。

1. 友だちや家族と同じ高さで「あー」と歌い、ユニゾンを感じよう。

よく使われる2つの重なり方を知ろう。

- 主旋律（メロディ）は、曲でいちばん耳に残る、中心となる歌の部分です。
- ハモリは、主旋律を支え、響きを豊かにする役目を持ちます。
- どちらが上手・下手ということではなく、役割がちがうだけです。

1. 好きな歌の主旋律を1フレーズ歌ってみよう。

自分のパートをしっかりと覚えよう。

- ハモリのメロディは、主旋律とはちがう動きをすることが多いです。
- 最初はハモリだけを何度も声に出して、耳と体で覚えましょう。
- 主旋律につられてしまうときは、ハモリだけをくり返す練習が効果的です。

1. ハモリのパートを、主旋律なしで3回くり返して歌おう。

主旋律につられずに、自分の音を保とう。

- 自分のパートをしっかり覚えていると、つられにくくなります。
- 最初のうちは耳をふさぎ気味にして、自分の声に集中するのも一つの方法です。
- 少しずつ、相手の声を聴きながらでも保てるように練習しましょう。

1. 家族に主旋律を歌ってもらい、自分はハモリを保って歌ってみよう。

ワンポイント つられてしまっても大丈夫。練習を重ねるほど、自分の音を保てるようになります。

2人で声を重ねてみよう。



ぼくが主旋律を歌うから、Emmaはハモリをお願い。



うん、やってみるね。声を重ねると、なんだか気持ちいいね。

- まずはゆっくりのテンポで、1フレーズだけ合わせてみましょう。
- うまく重なったところは、覚えておいて次の練習に生かしましょう。

1. 家族や友だちと、主旋律とハモリに分かれて1フレーズ歌ってみよう。

自分の声と相手の声、両方を聴こう。

- 自分の声だけに集中すると、重なりバランスが分かりにくくなります。
- 相手の声にも耳をすませると、響きが合っているかを感じられます。
- どちらの声も大きすぎず、バランスよく重ねることを意識しましょう。

1. ハモリながら、相手の声がどれくらい聞こえるか確かめよう。
2. 重なった響きの感想を書こう。

ハモリの音程練習

重なる前に、自分の音を安定させよう。

ポイント

- ハモリのパートの音を、1人で正確に歌えるようにしておくことが大切です。
- 音程が不安定だと、重ねたときに響きがにごって聞こえます。
- 前の教材「音程をとる」の練習も、ハモリの土台になります。

やってみよう

1. ハモリのパートを、ピアノや鍵盤の音に合わせて確認しよう。

書いて覚えよう

同じメロディをずらして重ねてみよう。

canon／輪唱（りんしょう）

ポイント

- やってみよう

1. 2人で「かえるの歌」を、1小節ずらして歌ってみよう。

書いて覚えよう

- 3人以上で輪唱をすると、より豊かな重なりが生まれます。
- 人数が増えるほど、自分のパートをしっかり保つことが大切になります。
- 途中で止まってしまっても、あわてずに続けましょう。

1. 3人以上で「かえるの歌」の輪唱に挑戦してみよう。

重なりが心地よく感じるわけを知ろう。

- 音が重なって響き合うと、1人で歌うときにはない厚みが生れます。
- うまく重なった瞬間の一体感は、ハモリならではの楽しさです。
- 少しのずれも、味わいとして楽しめることがあります。

1. ハモリが気持ちいいと感じた瞬間があれば書こう。

- 主旋律の音から3度上、または6度上の音を探すと、ハモリの候補になります。
- 鍵盤やピアノアプリで音を確かめながら探すと、見つけやすくなります。
- しっくりくる響きを、耳で確かめながら選びましょう。

1. 好きなフレーズの1音に、3度上のハモリの音を探してみよう。

- 主旋律を録音しておき、それに合わせてハモリを重ねる方法があります。
- 録音を聴きながら歌うと、1人でも重なりの練習ができます。
- 何度か録音を重ねて、自分だけの重なりを楽しむこともできます。

1. 主旋律を1フレーズ録音し、それに合わせてハモリを歌ってみよう。

うまくいかないときの対処法を知ろう。

よくあること

自分のパートが不安定

音程がずれている

こうしてみよう

1人で正確に歌えるようにする

速さを落として合わせる

1. あなたがハモリでつまずきやすいことは？

学んだハモリを、人前で試してみよう。

- 家族や友だちと、1曲通してハモりに挑戦してみましょう。
- うまくいかない部分があっても、重なる楽しさを味わうことが大切です。

やってみよう

1. だれかと1曲、輪唱かハモリで歌ってみよう。感想を書こう。

書いて覚えよう

20

実際にやってみよう・ペアで練習

声を重ねて、響きを確認しよう。

A (主旋律) ド・レ・ミ・ド

B (ハモリで重ねて)

A (かえるの歌の最初) かえるのうたが

B (1拍遅れて)

ポイント

- A が主旋律、B がハモリや輪唱を担当する練習です。
- 重なったときの響きを、2人で確かめ合ひましょう。

ワンポイント 最初はずれても大丈夫。少しずつタイミングと音程が合ってきます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

主旋律につられる

ハモリの音が不安定

輪唱でずれてしまう

自分のタイミングを見失う

響きがにごる

音程が合っていない

コツ

こうしてみよう

ハモリだけ先に覚える

1人で正確に歌えるように

拍を数えながら歌う

自分の出だしを意識する

ゆっくり合わせる

速さを落として確認する

ポイント

- できないところは、ゆっくり・短く区切って練習しましょう。
- 1つの重なりがうまくいったら、少しずつ範囲を広げましょう。

やってみよう

1. あなたがハモリでつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

重なりの言葉

☐ ハモリ

ちがう高さの声を重ねること

☐ ユニゾン

同じ高さの音を歌うこと

☐ ハーモニー

ちがう高さの音が重なった響き

度数の言葉

☐ 3度

主旋律から2つ高い音

☐ 6度

主旋律から5つ高い音

☐ 主旋律

曲の中心となるメロディ

輪唱の言葉

☐ カノン

同じメロディをずらして重ねる形

☐ 輪唱

カノンの日本語での呼び方

☐ かえるの歌

輪唱でよく使われる曲

練習の言葉

☐ つられる

相手の音にひっぱられること

☐ 録音

1人でハモリを練習する方法

☐ 音程練習

重ねる前に音を安定させること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、練習のポイントも伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|----------------------|
| ハモリ | ● | ● ア. 同じメロディをずらして重ねる形 |
| ユニゾン | ● | ● イ. ちがう高さの声を重ねること |
| カノン | ● | ● ウ. 曲の中心となるメロディ |
| 主旋律 | ● | ● エ. 相手の音にひっぱられること |
| つられる | ● | ● オ. 同じ高さの音を歌うこと |

2. 重なりにかかわる言葉を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 同じ高さの音をみんなで歌うこと → (ユニゾン / ハーモニー)
2. 同じメロディをずらして重ねる形 → (カノン / 主旋律)

書いて覚えよう

ハミングで3度上の音を探す

頭の中で輪唱をイメージする

「かえるの歌」を自分1人で輪唱風に歌う

録音した主旋律にハモリを重ねる

今日重ねた響きをノートに書く

家族と輪唱に挑戦する

- 1回5分でも、毎日続けることがハモリの力を育てます。

発表してみよう・感想を書こう

育ててきたハモリを、人に聴いてもらおう。

発表した日

歌った曲

担当したパート

主旋律 / ハモリ

聴いてくれた人の
感想

Ken の例

発表した日 7月1日 / 曲 かえるの歌 / 担当したパート ハモリ（輪唱の2番目） / 感想 重なりがきれいだったと言われた

感想を3文で書こう

① ハモリを学ぶ前は、～でした。② 今は、～ができるようになりました。③ これからは、～を練習したいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

重なる響きの世界は、これからも広がります。

もっと知りたい人へ

合唱で

たくさんの声の重なりを体験する

動画で

アカペラグループのハモリを見る

演奏会へ

生の重なりを聴きに行く

次のステップ

合唱のパート

ソプラノ・アルトなどを知る

童謡・唱歌

重ねやすい曲で練習する

1曲通す

最初から最後まで歌いきる

ポイント

- この教材の次は「合唱のパート」。重なりの世界を、もっと大きな声の集まりへ広がります。

書いて覚えよう

ハモリに挑戦チャレンジ

毎日の中でも、ハモリはすぐに楽しめます。

そろえよう

だれかと**同じ高さ**で歌う

ずらそう

「かえるの歌」を**輪唱**で歌う

重ねよう

録音した声に**ハモリ**を重ねる

こたえ

L26 ハモリ→イ ユニゾン→オ カノン→ア 主旋律→ウ つられる→エ
2. ハモリ / ユニゾン / カノン 3. ユニゾン / カノン

L33 (例) ハモリとは、主旋律にちがう高さの声を重ねて、豊かな響きをつくること。

書いて覚えよう

ハモリに挑戦 (Season 3 | No.26)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。